

□ Hello! 学校図書館

～ 舞鶴小・中学校 編 ～

26年4月に開校したピカピカの学校です。すばらしい校舎はもとより、施設一体型の小中連携教育校ならではの特色を知りたくて、訪問させていただきました。

まず、びっくりしたのが、仕切っている壁がガラスであったことです。とても明るく、開放感に満ちています。

館内の配置は中央の入り口近くにカウンター、その奥に丸いテーブルが置かれた読書スペース、また、校種で分けたわけではないのですが、読書スペースをはさんで、左側に絵本など小学生向けの本を中心に、反対側には主に中学生が利用しそうな分野の本を中心に配架されています。



(昇降口から学校図書館を臨む)



(入口とカウンター)



(絵本・文学等の書架)



(歴史・科学・工業等の書架)

小学生と中学生が共に利用することから、中学生向きの本には赤いラベルが貼ってあります。さらに、教科書に記載のある本には、黄色のラベルも貼ってありました。特筆すべきことは、学校図書館のとなりが学習ルームになっていて、自由に行き来ができるようになっていることです。辞書類は学習ルームに置いてあります。



(ラベルの工夫)



(学習室を臨む)

学校図書館運営上の工夫として、置いてほしい本を要望できる「リクエスト箱」、子どもどうしでおすすめの本を紹介しあう「読書ゆうびん」の箱（おすすめ本が記入された紙は、読書週間の時に各学級に掲示したそうです）、いつでも本の返却ができる「返却BOX」などが設置してあります。

最後に、小中連携教育校ならではの良さについて、学校司書さんが3点あげられました。

○小学校高学年の児童が、中学生向けの本を手に取り、「わー！こんな本がある。」と喜んでいる。

本好きの子にとって、より多くの様々な本に接することができる。

○幼稚園等、職場体験に行く生徒たちが、学校図書館から絵本を探して職場に持って行っている。

○小学生と中学生が共に活動する機会が多いことから、学校図書館内でも中学生が小学生の世話をしたり、質問に答える場面を多く目にする。